

# みんな一緒に!!

「ここは、こうやってこうするの、ほら上手にできた!」これは、今年行われた「まつえだふれあいタイム」での一コマ。今年で第五回目となる「まつえだふれあいタイム」を今回も行うのか、また行うならどう運営したら良いのかを判断する時期のことです。今年の羽島郡PTA研究発表会の発表者になり「まつえだふれあいタイム」をもつ一度最初から考え直すことになりました。

今まで行われた四回の内容の再検討、そして前回の終了時アンケート調査結果の見直し作業を進めました。そこから導き出された基本コンセプトは、子どもたちを中心に「自分の親」、「友だちの親」、「学校の先生」、「地域の人々」が、一緒に考え、一緒に作り、一緒に感動し、一緒にふれあう。



笠松町道徳教育連絡会議



それらを通じて、地域と学校がお互いに協力し合う、松枝小

学校PTAのスローガンである「うちの子、よその子、松枝の子 みんなで見守り育てよう!」を具体的な形で示すのがねらいです。つまり

「みんなで一緒に!!」です。地域のかたと子どもたちとのふれあいでは、学校のクラブ活動に焦点を当て、ご協力頂いている地域講師のかたとクラブ員の上級生でクラブ活動成果発表の場として活用してもらうようにしました。先生とのふれあいでは、普段見せない先生の姿に挑戦してもらうこととなり「マジック教室」など四種類の講座を作って頂きました。

そして広域的な視野に立ち岐阜市より「絵本ライブ」の杉山三四郎さん、関市より「和風」の小川義明さん、各務原市から「水 Rocket」の片岡鉄雄さんと「折り紙飛行機」の土屋雄嗣さんにご協力をお願いしました。

今年の終了後のアンケートにあった保護者の意見の中に、「隣で真剣に取り組んでいる子ども目を見るときとてもキラキラしていました。それだけで私は良かったです。このような感想をたくさん頂けるように今後に繋げて行きたいと思います。」

松枝小学校PTA

会長 青木 貫一

教育委員会  
だより

## 学び続けるすばらしさ

自分の趣味や特技は何でしょう。歌、踊り、スポーツ、創作活動など人によってさまざまですね。公民館の講座に参加したり、サークルを作って共に活動したりすることは、楽しいものです。仲間の輪が広がり、新しい出会いの場にもなります。子どもからお年寄りのかたまで、自分に合った楽しみ方をいろいろな場で見つけることができる時代です。

このような楽しみ方は、自分が好きなこと、興味を持つことにチャレンジしていく意欲があれば、案外すんなりできるものです。自宅でひとり楽しむような内容のものもあるでしょう。ですが、このような活動とは別の楽しみ、生きがいを感じて日々活動しているかたがあられます。たとえば、ガーデニング。花の名前もあまり知らず、土の知識も無かったかたが、植物の持つ魅力に引かれ始めました。

植物の季節や土と肥料の関係、鉢の大きさと配置のバランス、小さなものから大きなものへと無限の可能性が広がりました。やがて、知識と技能を身に付け、そのことを他の人に伝えたい、教えたいと思うようになりました。こうして、自分が身に付けた楽しみを人に教えることで、今までとは違った生きがいを感じるようになったのです。

人に教えてみたいと思う気持ちは、ボランティアで何かをしたいと考えるところどこか似ています。学んだことを広めたい、人の役に立ちたい、生きがいを感じたいと思う心が生涯学習の原動力となるのです。より多くのかたが生涯学習を進めようとするならば、そのかたがたの「まち」はきつと明るく笑顔いっぱい「まち」になることでしょう。学び続けるすばらしさはそこにあるのです。